

認定こども園

令和2年3月1日

敬愛短大附属幼稚園だより 3月号

卒園おめでとうございます。

卒園まであと残すところ半月になりました。多くのお友だちを3歳から見ていますが、心身の成長は目を見張るばかりです。よちよち歩きで、遊戯室まで行くのにも怖がっていた子たちが何をすることも自分の考えをしつかり言えるようになり、また、お友だちの意見もよく聞き取れるようになりました。クラスでの話し合いも互いのことを考えた上での行動につながられるようになりました。

幼稚園では人としての基礎となる大事な部分をご家庭と共に育ててきました。これからの成長過程でもこの3年間の学びは必ず役に立つことと思います。すべての子どもたちはたくさんの温かい眼差し見守られて成長してきました。敬愛幼稚園はこれからもずっと皆さんの母園です。小学校に行っても先生方はどうしているかなと常に思っていますので、学校での様子など話にきてください。

1 この3年間での幼稚園の変化

- ①年長さんが3歳の時に「かがくのひみつきち」が始まりました。
- ②花壇は見る花壇から「考えるかだん」に変わりました。
- ③「敬愛こどもミュージアム」ができて年長さんが運営をするようになりました。
- ④幼稚園の普段の姿を多くの未就園児の保護者の皆様に知っていただくために、公園や公共施設でも行う出張幼稚園「ぎゅぎゅっと🍀けいあい」が始まりました。
- ⑤園児が出演する機会もあった映画やテレビ放送の撮影が増えました。
- ⑥満3歳児入園も始まり、あつというまに定員がいっぱいになるなど、3歳児の入園者がとても多くなりました。
- ⑦認定こども園になったことと保育の無償化も始まり、家庭の負担が少なくなりました。
- ⑧積極的に幼稚園の公開研究会を開催し、保育の質が向上しました。

これ以外にもたくさんありますが、これまでの園行事も実施後、直ちに反省会を行い、次年度開催に向けて改善のための積み重ねができました。

2 子どもたちがきちんと意義を理解して行う園行事

2月に節分の行事を園庭で行いました。その際に和田副園長から、節分行事はなぜ行うのかが子どもたちが理解できることばで説明があり、どの園児も内容とその意義を理解して参加することができました。もちろん、節分の行事だけでなく、避難訓練も（今回は先生方にも実施は秘密でした）お隣の高洲小学校の3階まで非難する際にも（屋上に避難の予定でしたが、屋上に水がたまっているために急遽変更）防災頭巾でいち早く頭を保護することや、勝手な行動をとらないことなどが徹底され、全員が無事に避難することの大切さを理解した訓練が実施できました。

敬愛幼稚園では、普段から物事をよく理解した上で行事を行っているため、小学校入学後もしっかりとした学習姿勢が形成されています。また、このことは小学校の先生からも敬愛幼稚園の子どもは入学時から落ち着いてきちんと椅子に座って学習ができると評価されています。「どのような訓練をされているのですか」と小学校の先生から幼稚園の先生が改めて聞かれることもあるようですが、そのために特別なことはしていないのですが、敬愛幼稚園ではあたりまえのことをあたりまえにしているだけなのです。

学習が遅れてしまう子どもの多くは、話を落ち着いて聞けないことが多く、そのことが原因となってしまう場合が少なくありません。特別な事をしなくても普段からの生活習慣が土台となって効果的に学習が形成されていきますので、学習が生活習慣に先行して進むのではないので、幼児期にこうした基本的な生活習慣を身に付けることはとても重要なこととなります。

(園長 杉山清志)